

令和5年度 草津市青少年問題協議会 会議録

■日時：令和6年2月7日（水）14時00分～15時30分

■場所：草津市役所8階大会議室

■出席委員：14名

周防会長、岸本委員、塚田委員、政川委員、清水委員、山中委員、福井委員、矢野委員、廣瀬委員、高尾委員、喜多委員、木村委員、千代委員、野村委員

■出席幹事：11名

山口幹事、上原幹事、岩城幹事、岸本幹事、田中幹事、伊東幹事、中瀬幹事、古川幹事、堀井幹事、北村幹事、杉山幹事（代理 姫野）

■事務局：6名（子ども未来部、子ども家庭・若者課）

黒川部長、荒川副部長、徳地課長、相井参事、新庄主査、太田会計年度任用職員

■傍聴者：1名

1. 開会

<市長あいさつ>

令和5年度草津市青少年問題協議会の開会にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。

委員の皆様におかれましては、日頃から青少年の指導、育成、保護および矯正のために、御尽力をいただいておりますことに対し、厚くお礼申しあげますとともに、各種団体の皆様が相互に連携した取組を行っていただいておりますことに心から感謝を申し上げます。

さて、本市では、「こども家庭庁」が掲げる、子どもたちのために何がもっともよいことかを常に考え、子どもたちが健やかで幸せに成長できるような社会を実現する「こどもまんなか」の趣旨に賛同し、令和5年9月に「こどもまんなか応援サポーター宣言」を行いました。子どもを産み育てるなら草津市と思っていただけるまちの実現に向けた施策に取り組むとともに、市内の小中学校に支援員の配置や若者対策についても検討を進めており、多様な価値観や考え方を尊重した子ども・若者政策や、社会全体で子育てを支援する環境づくりに取り組んでいるところです。

草津市に住む子ども・若者の健やかな成長と自立を後押しし、自分らしく生きられるまちの実現を目指して、市民の皆様と共に取組を進めてまいりますので、今後とも御支援、御協力を賜りますようよろしくお願いいたします。日本一の子育てしやすいまち、若者がしっかりと育つまちを皆様とともに作ってまいろうと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

2. 新委員紹介

令和5年度に新しく委員となられた6名の委員紹介

3. 報告・協議

<会長あいさつ>

委員の皆様方、年度末のお忙しい時期に御出席いただきましてありがとうございます。また、草津市内の青少年の健全育成に日頃から御尽力をいただき、誠にありがとうございます。

本日の協議会では、草津警察署より「草津警察署管内の少年非行の状況」について御報告をいただき、理解を深めたいと思います。その後、各団体様の日頃の取組状況を御報告いただき、そのお話を参考にして、「私たちは地域においてどのようなことが協力できるのか」、「それぞれの活動をどのようにつなげていけばよいのか」を探りながら協議会を進めていきたいと思っております。

皆さん、どうぞ御協力をお願いします。

(1) 草津警察署（生活安全課長）より

草津警察署管内の少年非行の状況

令和5年12月末までの少年非行の状況ですが、刑法犯少年（刑法の罪を犯した少年）につきましては、犯罪少年（14歳以上）の件数は46件で、令和4年と比べ13件の増加となります。また、触法少年（14歳未満）につきましては、20件で9件の増加となります。一方で、特別法犯少年（環境破壊や薬物など、刑法犯以外のもの）につきましては、犯罪少年が5件、触法少年が2件であり、令和4年との比較では減少となっております。不良行為少年（タバコや深夜徘徊など）は、235件の補導数となっており77名の減少となっております。日常の様子につきましては、公園や大型量販店の施設内、コンビニエンスストア前の少年蟻集で、喫煙対応が多かった傾向にあります。

昨今、SNSを通じたつながりからグループが形成され、非行に手を染めていく若者が非常に多くなっている状況があります。SNSは便利なツールではありますが、このように問題点も多く、使い方に関する意識醸成や非行防止の啓発について力を注いでいる状況にあります。

【会長】

ありがとうございました。少年非行の現状につきまして、分かりやすくお話をお聞かせいただきました。委員の皆様から、お尋ねしたいことがございましたらお願いします。

【委員】

少年非行や犯罪の件数について、過去から比べてどういう水準で上がったり下がったりしているのでしょうか。

【生活安全課長】

補導や非行の数は、10年程前に比べて数字としては下がっている状況にあります。少子化の影響もあるのかもしれませんが、昔のように暴走行為や暴走族がコンビニに溜まったりすることは少なくなっています。逆にスマートフォンの普及により、屋内でいろんなことをする傾向に切り替わってきています。数字は減少していますが、警察としては非行が下がったとか少年の不良行為が少なくなってきたという捉え方はできない状況にあります。

【委員】

県内では、草津市の犯罪件数は多い方なのでしょうか。

【生活安全課長】

草津警察署は、大津警察署に次いで県内で2番目の大きな規模の警察署になります。少年非行はもちろん、各種犯罪や交通事故についても県下2番目の状況にあります。今年度につきましては、交通事故は大津署よりも件数が多い状況です。

【委員】

最近の子どもは、SNSでつながることが多いということですが、他府県の子どもが草津市に集まってくるのでしょうか。また、子どもたちがSNSを通じて集まるのは、どのようなことに興味があって集まるのでしょうか。

【生活安全課長】

数多くあります。実態を知っていただくとビックリされると思いますが、毎日のように相談や事件性のある容疑情報が入ります。例えば、県外に住んでいる小学生が、SNSアプリを通じて、知り合った成人男性に「遊びにおいで」「ごはん食べよう」などと甘い言葉を持ちかけられ、軽い気持ちでやってきたら性的な行為をされそうになり、ビックリして警察に相談に来たという事例もあります。集まるきっかけはまちまちで、一番多いのは何かとは一概には言えませんが、今一番社会問題になっているのは、少年の間での「大麻」です。大麻は低年齢化してきており、売買や譲渡の関係でSNSが使われることが多くあり、薬物に興味を示す若者が掲示板サイトに集まっているのが現状です。また、一般市販薬を大量服用する（オーバードーズ）などの行為を行ったり、インスタグラムのストーリーやメッセージ機能を利用し、未成年者がSNSを通じてつながり、グループ化している傾向があります。

【委員】

県内での、大麻グミやリキッド系について、草津署管内の傾向や年齢層について教えていただきたい。

【生活安全課長】

大麻グミは都市部が多いが、リキッド系については地方にも広がっている状況にあります。年齢層は幅広く、小学生にも例があります。ただ、譲渡や販売行為に手を染めているのは、中学校卒業後の18・19歳が多いと思われます。

【会長】

ありがとうございました。

それでは、次第の2（2）の各団体の取組報告、意見交換を進めたいと思います。

本日の協議会では、青少年の健全育成に向けた各団体の取組や、青少年の課題・問題点などについて、関係者相互の理解と連携を図りたく、草津警察署から先ほど御報告いただきました内容も踏まえながら、意見交換をお願いします。

【草津市まちづくり協議会連合会】

取組を進めるうえで、役員の人材不足や役員の高年齢化が大きな課題となっております。若い方の加入を強く願っております。

【草津市青少年育成市民会議】

青少年の主張発表大会、青少年育成大会（講演ライブ・挨拶（あいさつ）運動優秀作品等の表彰・活動事例発表）を行いました。

【質問】 挨拶（あいさつ）運動の取組について教えていただきたい。

挨拶（あいさつ）運動の取組としまして、挨拶（あいさつ）運動の標語や絵画を募集しております。多くの方から応募をいただいております、提出作品は毎年とても素晴らしいです。

【草津市BBS会】

市内4つのまちづくりセンターで寺子屋教室を開催しています。友だちと人間関係がうまくいかない子や学校に行きづらい子、軽度の発達障害の子など、25～26名の子どもたちが来ます。30分の宿題や勉強の後、大学生のお兄ちゃんやお姉ちゃんと一緒に、集団の遊びや自分たちでルールを作りながらの活動を行っています。

最近、スマホを持ってきてアプリを見せ合ったりしている様子も見受けられ、以前とは違うなど感じています。

【草津市少年補導委員会】

90名体制で補導活動を行っています。de愛ひろばを中心に、Aスクエアや草津駅周辺の補導活動を行っております。また、14小学校区には、それぞれ数名の委員さんがおられますので、多い校区では月に3回程度のパトロールを実施いただいております。

補導委員を20年やっておりますが、ここ10年くらいは、以前のような気になる子どもたちはほとんどいなくなったと感じます。新型コロナウイルス感染症の流行以降、大型量販店の中で子どもたちの姿を見かけることはあっても、外ではほとんど見かけることがなくなりました。昨日も、寒かったからかもしれませんが、de愛ひろばでは子どもたちの姿は見かけませんでした。

また、啓発活動としてポケットティッシュを配布していますが、ティッシュはなかなか受け取ってもらえませんが、カイロだと皆さんに受け取ってもらえます。

【質問】 子どもたちには、どのように声かけをされていますか。

子どもたちには、上から目線ではなく、目線を合わせた状態で声かけを行っています。

フードコートで勉強している子には、「勉強がんばってるんやね」「寒いし、カイロあげようか」「できるだけ早く帰るようにしいや」などと、声かけを行っています。

【草津支部保護司会】

保護観察処分を受けた方の面接、御家族との懇談、就労の相談や学校との連携を行っています。

また、草津駅や南草津駅での啓発活動や定例の研修会を開催し、保護司の勉強を行っております。

近年は、初犯の数は大幅に減少していると聞いておりますが、再犯は増加傾向にあると言われております。再犯防止は、大きな課題であると思っております。現在、草津支部の保護司は34名います。子どもたちが加害者にも被害者にもならないように、子どもたちを守るために、行政・学校・更生保護団体等との横のつながりが大変重要だと感じております。今後ともよろしく願います。

【草津市更生保護女性会】

社会を明るくする運動の一環として、「一般公開ケース研究会」を開催しております。各学区のまちづくりセンターで、地域の皆様や学校の先生、各種団体の方々が集まり、「生きづらさを抱えている子どもたち」をテーマに話し合いを行いました。また、毎年12月には、草津駅と南草津駅に分かれて街頭啓発を行っております。南草津駅では、寒い日なのに薄着・素足で震えている女の子を発見し、交番につなげたことがありました。

気づき、つなぐということの大切さを、ミニ集会等で広げていきたいと思っております。

先程の方と同じように、人材不足や高齢化は私たちも課題であり、一人でも会員を増やしていきたいと頑張っております。

【質問】 ネットワーク（つなぐ）の大切さについて、もう少しお話しください。

一般公開ケース研究会は毎年行っており、以前から保育園の先生や小学校の先生から、「子どもたちのために、ネットワークを作しましょう」と言われております。毎回、研究会の最後に「ネットワークを作しましょう」と合言葉のように言われてきましたが、それで終わってしまうのが今までだったのですが、今ではつながりも深くなりました。繰り返していくことにより、ネットワークは築かれていくように感じます。

【草津市スポーツ協会】

各競技団体には子どもから大人まで参加しており、小さい時からの仲間づくりに取り組んでいます。お互いに協力しあい、思いやりの心を持ち、一緒になって、一つのを築いていくことを大切にしています。

応援している子どもたちも、みんなが一つになって盛り上げていくことを大切にして、仲間づくりを指導しています。このような取組から、今年の県民体育大会では、草津市は第3位の成績を収めることができました。各競技団体が、一丸となって盛り上げることができたと考えています。

【草津市小学校長代表】

以前は教師が子どもたちにいろいろなことを教えていましたが、近年は、学校の教員だけでは難しく、地域の人材をしっかりと活用して、地域の人やお店・歴史的建物・自然などに出向いて学ぶことが大事になってきているとつくづく思っています。自然・歴史・文化などのほか、地域の方の温かさをすごく感じています。子どもたちにもしっかりと感じてもらって、健やかな成長に

つなげていきたいと思い、取り組んでいます。

昨日、コミュニティースクールの会議が行われ、地域に出向いたり、地域の方に来てもらっていろいろなことを教えてもらっている取組を振り返り、改めてこの取組が大切であると実感しました。子どもたちの健全育成につながっていると思います。

本校では、SNSやスマホ等の報告はほとんどないのですが、小学校の高学年からこのような問題は起こってきていると周りの声を聞くにつれ、情報モラルの取組は保護者にもお伝えしながら、今後もしっかりと学習していかなければならないと思っています。

〔質問〕 子どもたちのあいさつの状況はいかがですか。

多くの小学校では、毎朝、校長が子どもたちを迎えながらあいさつを交わしています。本校では、保護司会の方も月に何度か来ていただいて、あいさつを交わしていただいています。子どもたちは、しっかりとあいさつを交わしてくれていると思います。

委員会活動（人権委員）の取組で、次年度に向けて「あいさつは、しっかりとしましょう」と、呼びかけをしています。子どもたちの方から発信をして呼びかけており、努力はしていると感じます。

【草津市認可保育園連盟】

昨今、特に力を入れなければならないことは、「保護者支援」であると思っています。こどもに困り感がある場合は、保護者の方も困っていることが多く、保護者が何に困っているのかをしっかりとお話を聞くことが大切であると思っています。

お話を聞くことだけで解決できればよいのですが、そのようなケースだけではないので、他の機関にどうつないでいくかが大切なことだと思っています。市役所（関係各課）や小学校等との連携を図りながら、その子が今だけではなく、将来大人になった時に健全に労働ができ、子どもを育てていけるように、長いビジョンで取り組んでいかなければならないと思っています。

こども園が見守ることができるのは小学校に入学するまでの期間なので、どうしても支援がぶつ切りになってしまうことも否めないのかなと思うところもあり、このような会議では、各団体の取組内容の共有だけでなく、協力し合える内容（私どもの団体からは、このようなことなら協力できますよ）の共有が必要であると思っています。「その場だけ」「うちの団体の仕事はここまで」で線を引くのではなく、みんなで子どもたちを良い方向に導いていけたらと思っています。

〔意見〕 更生保護女性会より

更生保護女性会は、各学区（地域）にあり、子どもたちに絵本を送ったり、催しへの参加もしておりました。依頼があれば地域で協力していけるかと思っています。

【草津市認可保育園連盟】

ありがとうございます。

困り感がある家庭であったり、子どもたちであったりが、身近な人々と上手につながっていない現状があるように思います。自分たちと同じ困り感がある人たちや、仲良くしたい人たち（例えば、貧困家庭や違う地域から転入してきた人たち）が身近な方たちとうまくつながっていけな

いことによって、SNS等で同じ境遇の人たちとつながっていき、非行に走ってしまうことがあるように思います。そういうところとのつながりではなく、もっと地域で上手につながっていけるような仕組みができれば、青少年が非行に陥るまでの段階でより良い方向に導いていけるはずで

【草津公共職業安定所】

ハローワーク草津の若者支援の体制としましては、中学生・高校生、卒業生の支援につきましては、2名の就職支援ナビゲーターが就職支援を行っております。その内1名は特別支援学校(養護学校)を担当しております。大学生や短大生、専修学校生の支援は、草津駅前の滋賀ジョブパークで、6名体制で支援をしています。

ハローワーク草津管内の若者支援としましては、15歳から19歳の求職者が10数名いらっしゃいます。大半が高等学校を卒業された方ですが、高等学校を中退された方もいらっしゃいます。その他、定時制や通信制に在学されている方の就職支援を行っております。

就職以前に解決しなければならない問題を抱えておられる方も複数いらっしゃいます。また、就職にあたって、社会人としてのビジネスマナーの基本から支援していくケースもあります。

就職が決まらないまま卒業を迎えられる方には、3・4月にかけての支援を学校と連携を図りながら進めていく予定です。

【質問】 就職につながるまでは、登録後どれくらいの期間がかかりますか。

人によって違いはありますが、就職の準備性(あいさつ・ビジネスマナー等)が整っておられる方は、比較的早く(1~2か月程度)就職先が見つかりますが、整っておられない方は、不採用を繰り返し、その途中で音信不通になったり、来られなくなるケースもあります。定期的に電話をかけながらコンタクトを取ってはいますが、完全に切れてしまうケースもあります。

【質問】 支援のつながり(継続性)について、お考えをお話してください。

特に高等学校(進路指導)の先生とは、会議で就職支援について話し合いを行っております。学校の中では、仕事の向き合い方や面接の仕方など、基本的なところを指導している現状です。

【公募市民A】

通学路でゴミ拾い(ボランティア)をされている高齢の方がいらっしゃるのですが、その方が言うには、中学生が通学途上でわざわざ自転車から降りて、私に向かって、「いつもありがとうございます」と言ってくれる。それも一人だけじゃなく、他にも同じように言ってくれる生徒がいる。そのことがうれしくて、感動した・・・とおっしゃられていました。その生徒が誰なのかは分かりませんが、面と向かって伝えることが苦手な人が多い中、立派であると思います。

家庭内や地域でのあいさつを含め、コミュニケーション力をつけるためにも、子どもに話しかけていくことが健全育成になると思います。

【公募市民B】

青少年育成の活動には長年関わりを持っており、現在、青少年育成市民会議では、非行防止に関わっております。このような会議に対して思うのですが、個人会員は“置いてきぼり”になっているように思います。そのような風潮を感じます。団体優位で、個人の意見はなかなか上には上がっていかない。このような現状を拭い去っていかねばならないと思います。ベテランの方々には、若い者の協力をいかにして得られるかということをもっとアップデートしていかねばならない。そういう意味では、もっと個人を巻き込んでいくことが必要かと思えます。

【公募市民C】

子どもの送迎をしていますが、歩行者優先場所や歩車分離交差点では、車や自転車には歩行者の安全を優先するためのルールが存在するので、そのことをしっかり勉強しなければと思います。

あいさつをしてくれる子が少なくなっていると感じます。保護者もあいさつをしてくれない方がいます。子どもを放っておいて夢中で話をしている保護者もいて、子どもが道の方に走って行っていることもあり、心配です。

6. 閉会

【会長】

本日は大変貴重な会議をもつ事ができました。青少年は明日の草津を担う大切な人材であり、子どもたちの周りの大人がみんな健全に育成することは、まちづくりを進めていく上でも、極めて重要です。

これからもますます学校、家庭、地域、関係団体が連携し合い、青少年を見守り続けていくことが大切だと考えております。

今回の協議内容をもとに、青少年の健全育成に向けた取組を一層御尽力いただきますようよろしく申し上げます。

それでは、マイクを事務局にお渡しします。

【事務局】

以上を持ちまして、令和5年度 草津市青少年問題協議会を閉会いたします。